

廃棄物減量推進審議会の報告

(1)令和5年度の目標達成予想

令和4年3月策定の「ごみ処理基本計画」において設定した目標値と現況(見込み)の比較結果は下記のとおりです。なお、令和5年度の見込みは、令和5年12月末時点のデータを基に、指定ごみ袋制度の影響も考慮したうえで前年と比較し推測で作成しています。

(1) 目標値の令和5年度達成見込み

項目＼年度	単位	R4	R5	R5	R5評価
		(実績)	(見込)	(目標)	(見込)
① 1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	897.5	877.6	919.5	達成
② 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	g/人・日	515.7	496.8	515.2	達成
③ 事業系ごみ排出量	t/年	8,409	8,568	8,447	未達成
④ (参考) 集団回収量	t/年	2,812	2,606	—	—
⑤ リサイクル率 ()内は灰の資源化を含む	—	16.0% (16.2%)	15.5% (15.7%)	17.3%	未達成
⑥ 最終処分量	t/年	4,166	4,022	4,107	達成

(2)ごみ量の推移

ごみ排出量は減量していますが、集団回収量が減少しており、リサイクル率は昨年度同様に目標値に対して未達成となっています。

参考 実績値の推移

項目＼年度	単位	R1	R2	R3	R4	R5
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)
① 1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	942.0	943.1	932.5	897.5	877.6
② 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	g/人・日	534.2	549.9	543.5	515.7	496.8
③ 事業系ごみ排出量	t/年	8,970	8,384	8,447	8,409	8,568
④ (参考) 集団回収量	t/年	3,332	3,074	2,962	2,812	2,606
⑤ リサイクル率 ()内は灰の資源化を含む	—	16.3% (16.2%)	16.4% (15.7%)	15.9%	16.0% (16.2%)	15.5% (15.7%)
⑥ 最終処分量	t/年	4,354	4,344	4,320	4,166	4,022

(3)指定ごみ袋導入後のごみ量推移(2023年10月～12月)

■燃やすごみの推移(kg)								指定ごみ袋導入後	指定ごみ袋導入前
令和5年度	4月～9月	10月	11月	12月	10月前年比	11月前年比	12月前年比	10月～12月前年比	4月～9月前年比
燃やすごみ(個人)	8,531,639	1,271,450	1,238,846	1,435,735	93.2%	90.2%	91.7%	91.7%	100.0%
燃やすごみ(事業者)	4,355,931	732,660	708,104	768,145	102.5%	99.4%	100.2%	100.7%	104.3%
燃やすごみ合計	12,887,570	2,004,110	1,946,950	2,203,880	96.4%	93.3%	94.5%	94.7%	101.4%
燃やさないごみ合計	1,701,900	219,910	304,350	309,390	83.2%	112.3%	95.2%	96.9%	94.8%
ごみ全体合計	14,589,470	2,224,020	2,251,300	2,513,270	94.9%	95.5%	94.6%	95.0%	100.6%
参考:燃やすごみ(行政回収バイオライン含む)	7,947,460	1,155,990	1,129,250	1,324,420	91.5%	89.0%	90.6%	90.4%	99.2%

(4)次年度の方策

日常における環境意識の醸成を目指すため、令和5年10月に指定ごみ袋制度を本格実施し、ごみの減量にはつながっていますが、さらなる分別の徹底とごみ減量の推進に取り組む必要があります。

- 依然燃やすごみに紙ごみが混入していることから、雑がみの分別を向上させることなど、長期スパンでの向上を目指していく。(課題:ごみの減量化と再資源化の推進)
- プラスチックの分別について実施自体は先になりますが、課題の整理、社会情勢の把握に努めながら、市民に分別する目的を周知し、意識の醸成に努める。(課題:プラスチックの分別推進の課題整理と市民周知)
- 分別意識の高まりをより継続し発展させるために、アプリをはじめとした啓発手段の充実化を図り、分別ルールの徹底をすすめる。(課題:ごみに関する広報手段の充実)
- 施設整備については、神戸市との広域連携協議、芦屋市での単独整備を並行して進めながら、市民のごみを処理し続けることができるよう、ごみ処理施設の方向性を決めていく必要があります。(課題:施設整備の推進)
- 5番目には、最近のごみ収集車の火災を鑑み、私から提案した「危険ごみの撲滅」が加わることになりました。

令和6年度実施計画の方策

R6方策	R6取り組み予定
1 ごみの減量化と再資源化の推進	広報等を通して、減量化と再資源化を啓発する。特に燃やすごみに混入している紙ごみが多いことをお知らせし、リサイクルできる紙とそうでない紙の紹介を行うなど、わかりやすく市民に伝える
2 プラスチックの分別推進の課題整理と市民周知	プラスチック分別の課題整理、方法の検討に努めながら、更なる分別の推進につながるプラスチック分別の意義等を周知する
3 ごみに関する広報手段の充実	ごみアプリの内容の充実を図りながら、広報等と合わせて分別に関する周知の強化に努める。
4 施設整備の推進	神戸市との広域連携と単独整備を平行に進めながら、ごみ処理施設の方向性を確認していく。

→ 5 危険ごみの撲滅(追加項目)

ワーキング・グループの報告

1. CO2 削減のためのパイプラインの新しい運転

1月の状態は電力量が6%削減できているが、まだ十分だとは言えません。前回賛成いただいた新しい運転は1月29日から実施していますので、2月のデータを参照して判断をしたいと考えています。

期間：1月1日～1月31日 (R5年とR4年の比較)

※新しい運転方法は1/29から運用開始

【収集ごみ量】

収集ごみ量 [kg]	期 間	R5年	R4年	対比 (R5年/R4年)	備 考
	1/1～1/31	158,550	164,650	96%	
	12/1-12/31	170,050	177,550	96%	

【プロワ運転時間】

プロワ運転時間 [min]	期 間	R5年	R4年	対比 (R5年/R4年)	備 考
	1/1～1/31	6,327	7,089	89%	
	12/1-12/31	7,162	7,421	97%	

【プロワ電力量】

プロワ電力量 [kWh]	期 間	R5年	R4年	対比 (R5年/R4年)	備 考
	1/1～1/31	56,650	60,390	94%	
	12/1-12/31	66,840	70,030	95%	

(2)代替案の検討

- ごみボックス等を設置する場合の申請について

これまでパイプライン代替設備を新しく各箇所(道路及び公園)に設置する場合には下記の申請が必要となります

1. 道路占用届(道路上に新しいごみステーションを新設する場合)
2. 都市公園占用届(公園内に新しいごみステーションを新設する場合)
3. 家庭ごみステーション設置届書(ごみを収集してもらう場合)

なお、私有地に設置する場合には、家庭ごみステーション設置届書のみが必要となります。

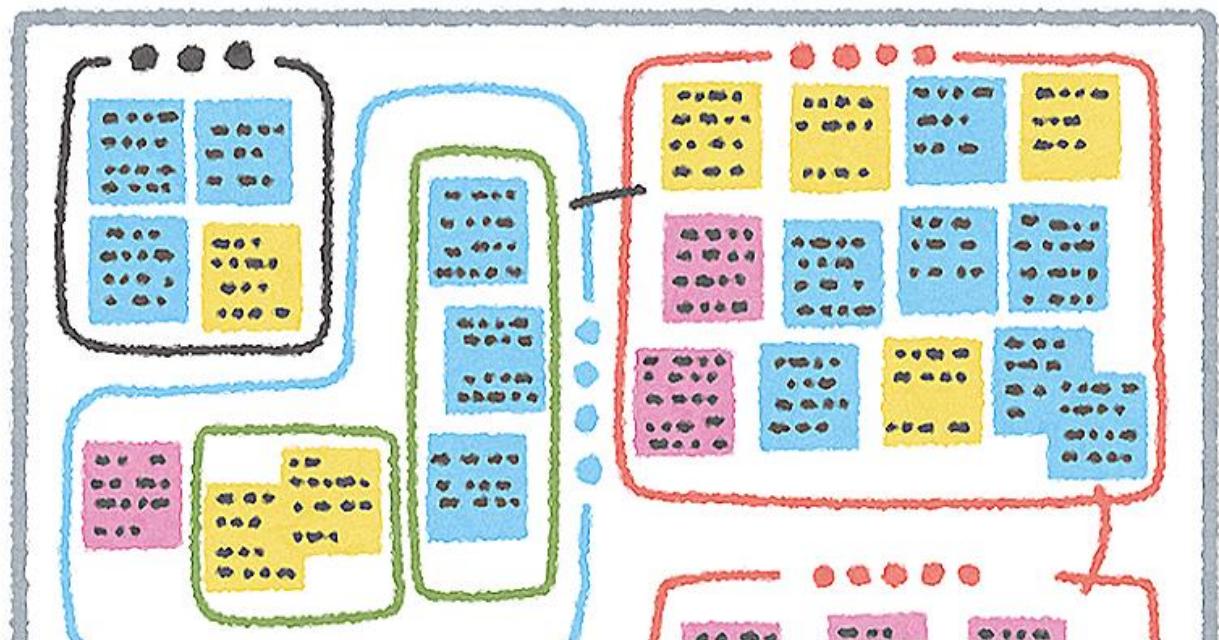


家庭内の食品ロスの撲滅のためのワークショップ

今回は家庭での食品ロスをできるだけ少なくするための対策をワークショップ形式で検討します。

手順

1. 次ページに書いていることは AI が提供したものでロジックツリー形式で
 - 理由: なぜ食品ロスが発生するのか
 - 原因: 食品ロスが発生する具体的な原因を記入しています。
 2. 次これらの理由と原因を参照して、配布されている付箋に「どうしたら食品ロスを撲滅できるか」の対策を出来るだけ多く書きます。(5 分 × 2 回)
 3. 次に書いた付箋を模造紙に貼ります。
- 成功の4つのポイント
- 自由に書く(このアイデアを出して他人から悪く思われないか心配しない)
 - アイデアを批判しない、判断や決断もしない
 - アイデアを組み合わせる
 - 質より量を重視する
4. 最後に書いた付箋をグループごとにまとめ、そのタイトル付箋を使って書きます。



家庭内の食品ロスの撲滅のためのロジックツリー

